

2018年9月期 第1四半期決算説明会

テーマ：オンライン決済拡大とキャッシュレス化牽引による持続的成長

2018年2月13日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第52回

GMO PAYMENT GATEWAY

<https://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2018年2月13日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 当期の経営目標及び経営要件と業界動向
2. 2018年9月期 第1四半期業績サマリー
3. 2018年9月期 業績予想
4. 今後の取り組みと成長戦略
5. 財務ハイライト
6. 参考資料等

1. 当期の経営目標及び経営要件と業界動向

1.1 当期の経営目標及び経営要件

業界の発展のためキャッシュレス決済の普及・拡大を牽引

■ 経営目標

成長（営業利益25%以上）継続性の担保

■ 経営要件

1. キャッシュレス化の推進

銀行Bizの推進

- 口座振替アプリの拡大
- QRコード等、新しい決済手段の提供

改正割販法による大手加盟店開拓及び大型案件の獲得

2. マネーサービスビジネスの収益拡大

GMO後払い・早期入金サービス

グローバルレンディングも視野に

3. グローバル戦略の更なる強化

Macro Kioskをコアに2020年以降の利益拡大に向けた戦略遂行

1.2 業界トピックス

最近の 이슈に関する当社グループのポジション

当社への影響



2018年6月1日、改正割販法施行

- ・セキュリティ対策や加盟店調査義務化に対応（GMO-PG）
- ・対面分野ではIC端末対応を促進（GMO-FG）



WorldpayがKlarnaとパートナー提携、欧州6か国で展開 インドのモバイル決済「Paytm（ペイティーエム）」が後払いサービス

- ・グローバル展開も見据え、後払い決済の拡大と収益性向上に取り組み



通信キャリアがスマホQRコード決済に参入

- ・当社ノウハウにより国内普及を支援しキャッシュレス化を推進



仮想通貨関連で世界的に起こっている様々な事象

- ・仮想通貨のボラティリティ上昇により決済トランザクション数は増加

2. 2018年9月期 第1四半期業績サマリー

2.1 業績サマリー

スタートダッシュ、営業利益28.7%増、決済処理金額も36.1%増

| (百万円) | 2017年9月期 1Q実績 | 2018年9月期 1Q実績 | 前年同期比 |
|--------------------------------|------------------|------------------|--------|
| 売上収益 (売上高) | 4,826 | 6,098 | +26.4% |
| 営業利益 | 1,238 | 1,594 | +28.7% |
| 親会社の所有者に帰属する 四半期利益 (純利益) | 609 | 860 | +41.1% |
| EBITDA ^{※1} | 1,389 | 1,818 | +30.9% |

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

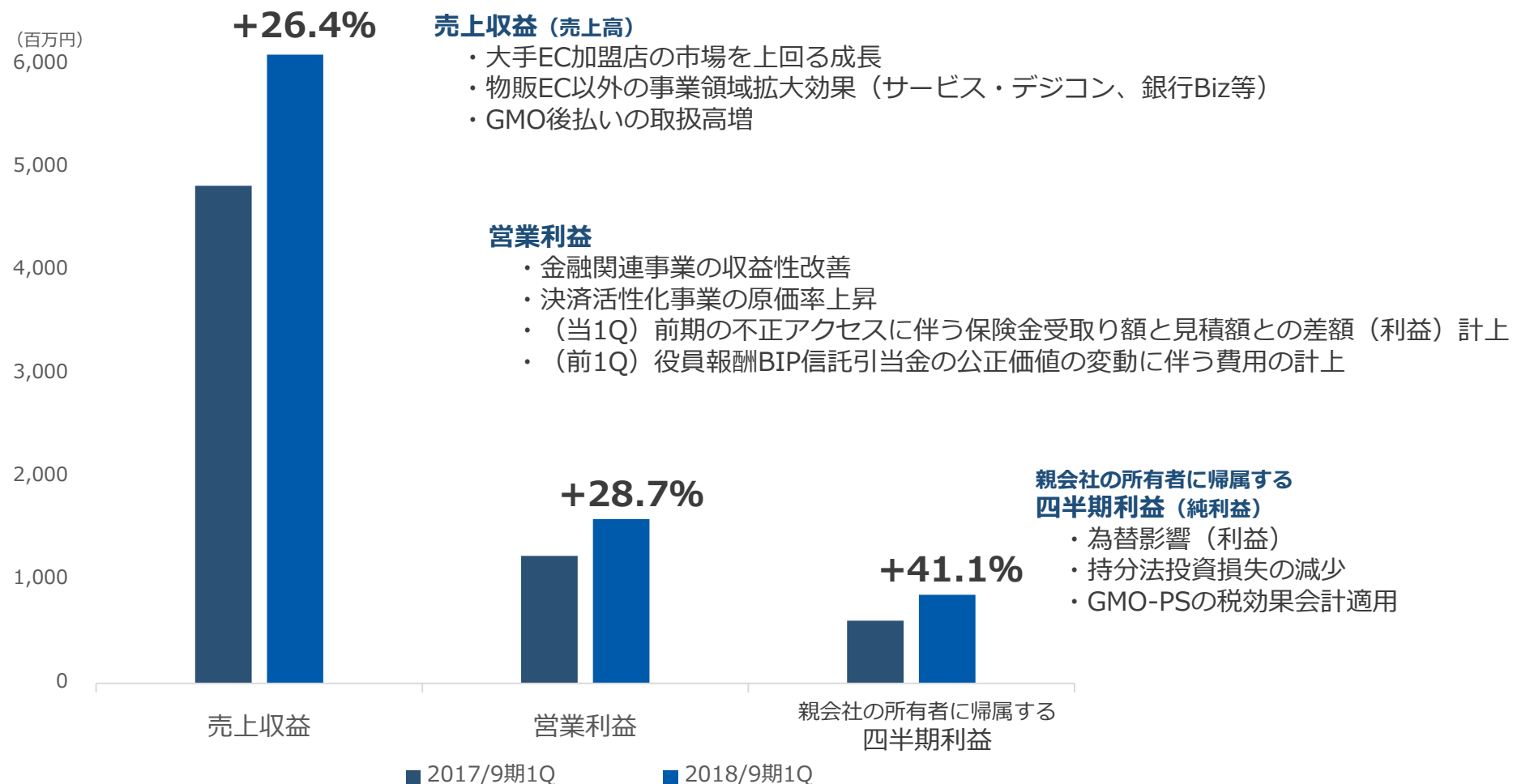
| KPI | 稼働店舗数 (1Q末) | 決済処理金額 (1Q) | 決済処理件数 (1Q) |
|-----|----------------------------------|----------------------|------------------------|
| | 86,136店 ^{※2} (+5.1%) | 約7,700億円 (+36.1%) | 約3億1,300万件 (+25.9%) |

対面決済分は含まず、()内は前年同期比

※2 一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により過去と比較し伸び率が鈍化(当要因を除くと19.5%増)

2.2 業績の変動要因

当第1四半期より連結財務諸表を国際会計基準（IFRS）にて開示

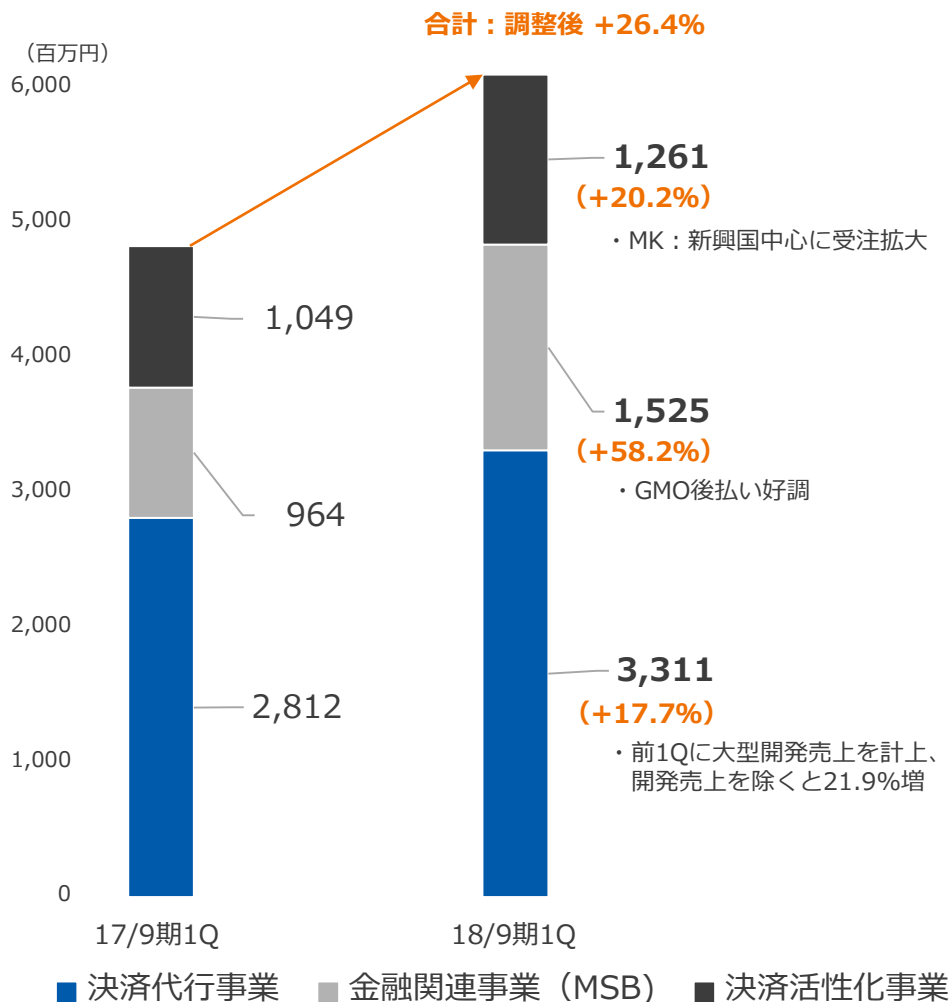


※GMO-PS：GMOペイメントサービス

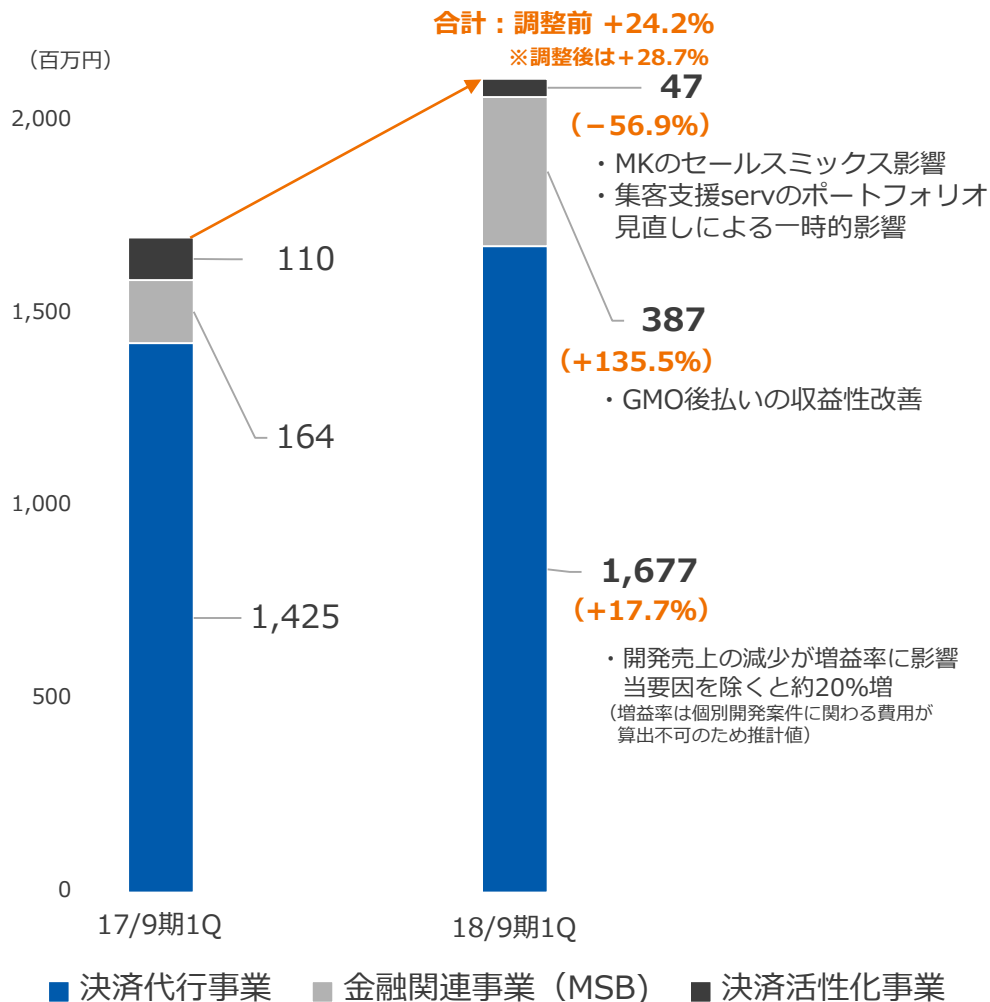
2.3 セグメント別売上収益・営業利益

決済代行事業は実質20%増益、金融関連事業は135%増益

■ セグメント別売上収益

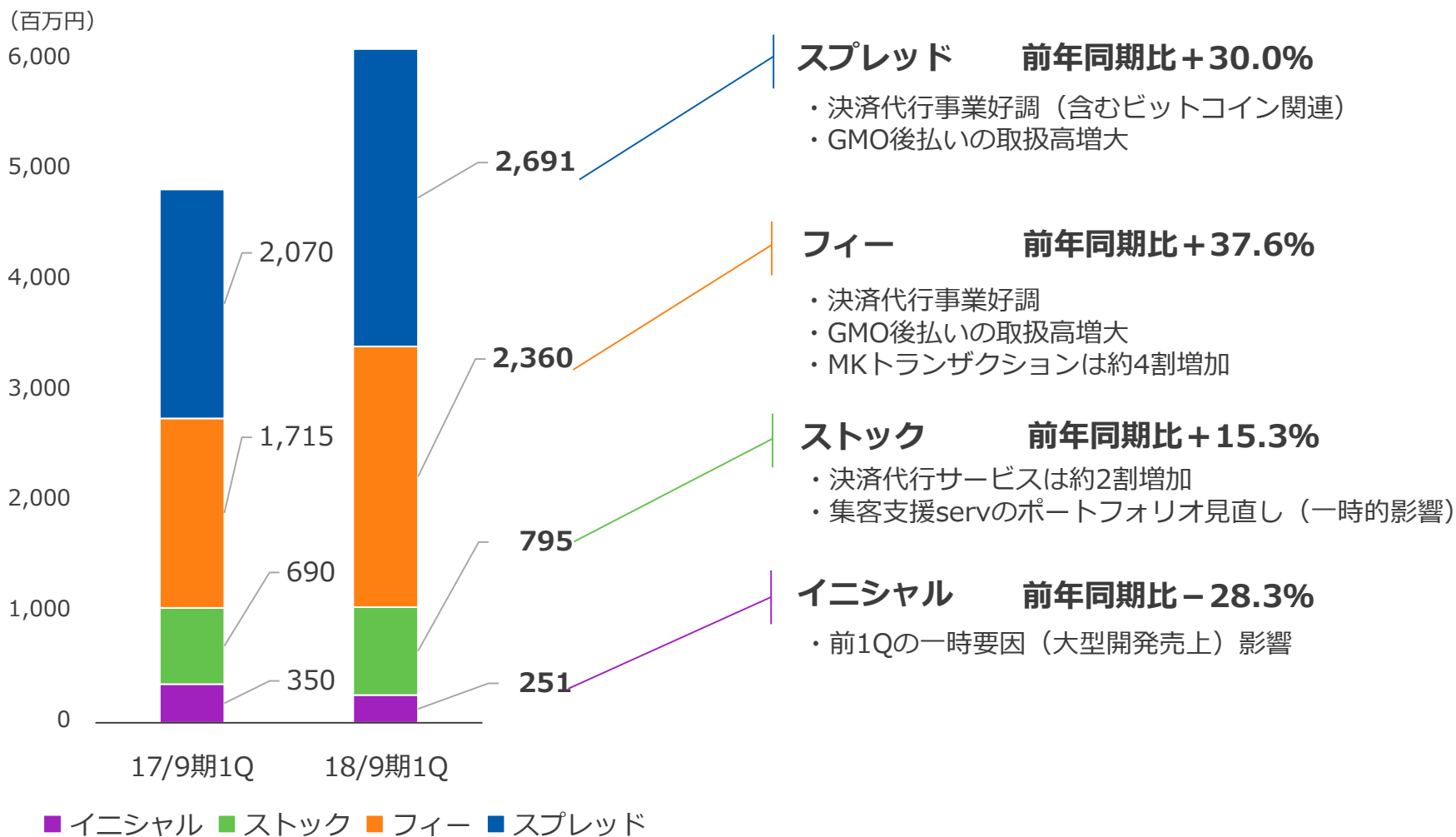


■ セグメント別営業利益 (連結調整前)



2.4 ビジネスモデル別売上収益

決済処理金額・件数の増大によりフィー、スプレッドが好調



※MK : MACROKIOSK

3. 2018年9月期 業績予想

3.1 通期業績予想

IFRSベース予想を新たに設定、営業利益約54%成長

■ 2018年9月期

(単位：百万円、%は対前年度比増減率)

| (百万円) | 2017年9月期 通期実績 | 2018年9月期 通期予想 | 前期比 ^{※2} | 2018年9月期 2Q累計予想 |
|-----------------------|--------------------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| 売上収益 | 21,054 | 26,107 | +24% | 11,967 |
| 営業利益 (J-GAAP) | 4,205 (5,015) ^{※1} | 6,475 (6,269) | +54% (+25%) | 3,011 |
| 親会社の所有者に帰属する 四半期利益 | 2,599 | 3,933 | +51% | 1,825 |
| 年間配当金 | 40.0円 | 49.0円 | +9.0円 | - |

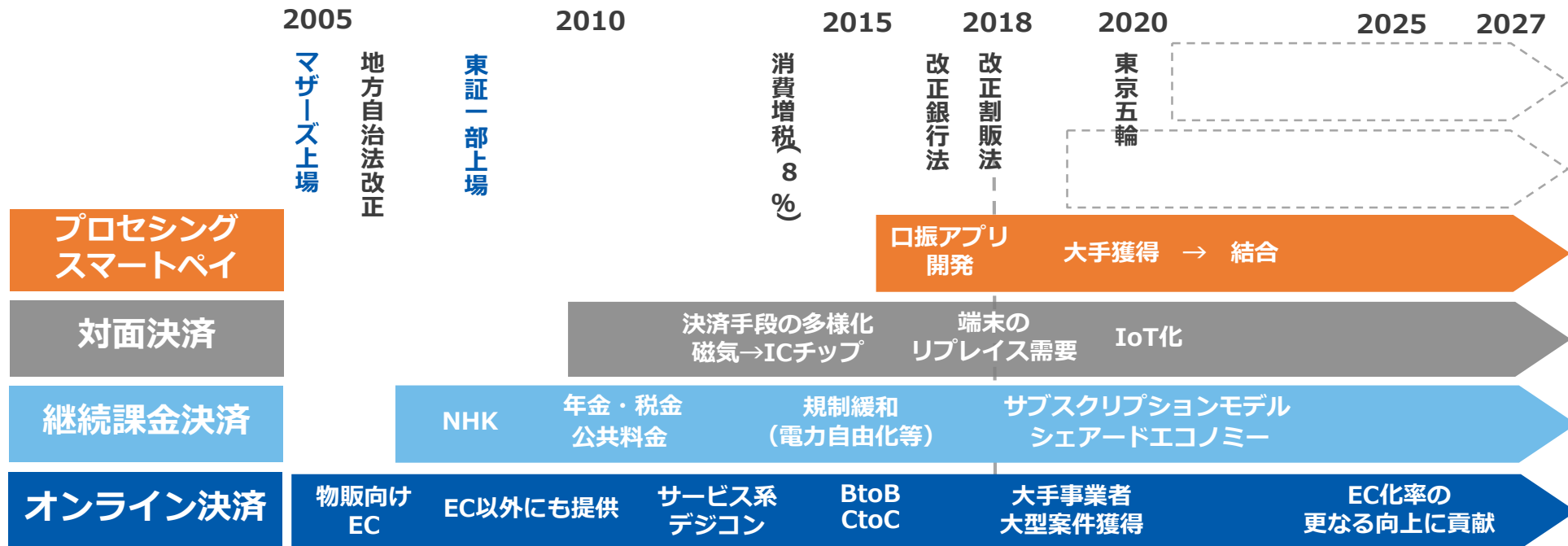
※1 J-GAAPとIFRSの差分：主に、役員報酬BIP信託にかかる引当金の公正価値の変動による影響（前期販管費の増加）

※2 前期比は監査前の数値を元に算出した参考値

当社は当連結会計年度からIFRSを任意適用しているため、決算短信等では対前期比を記載しておりません。

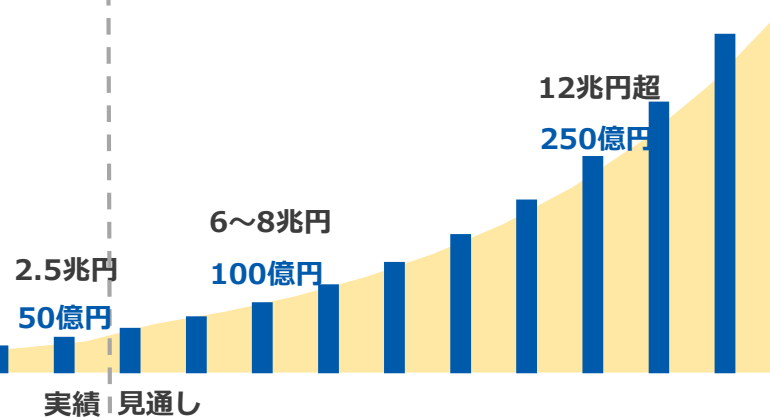
4. 今後の取り組みと成長戦略

4.1 キャッシュレス化に関わる事業拡大



| | | | |
|-----------|------|---|------------|
| キャッシュレス比率 | 2015 | → | 2027 |
| | 18% | | 40% |
| BtoC EC市場 | 2016 | → | 2020 |
| | 15兆円 | | 25兆円 (見通し) |

当社決済処理金額
営業利益

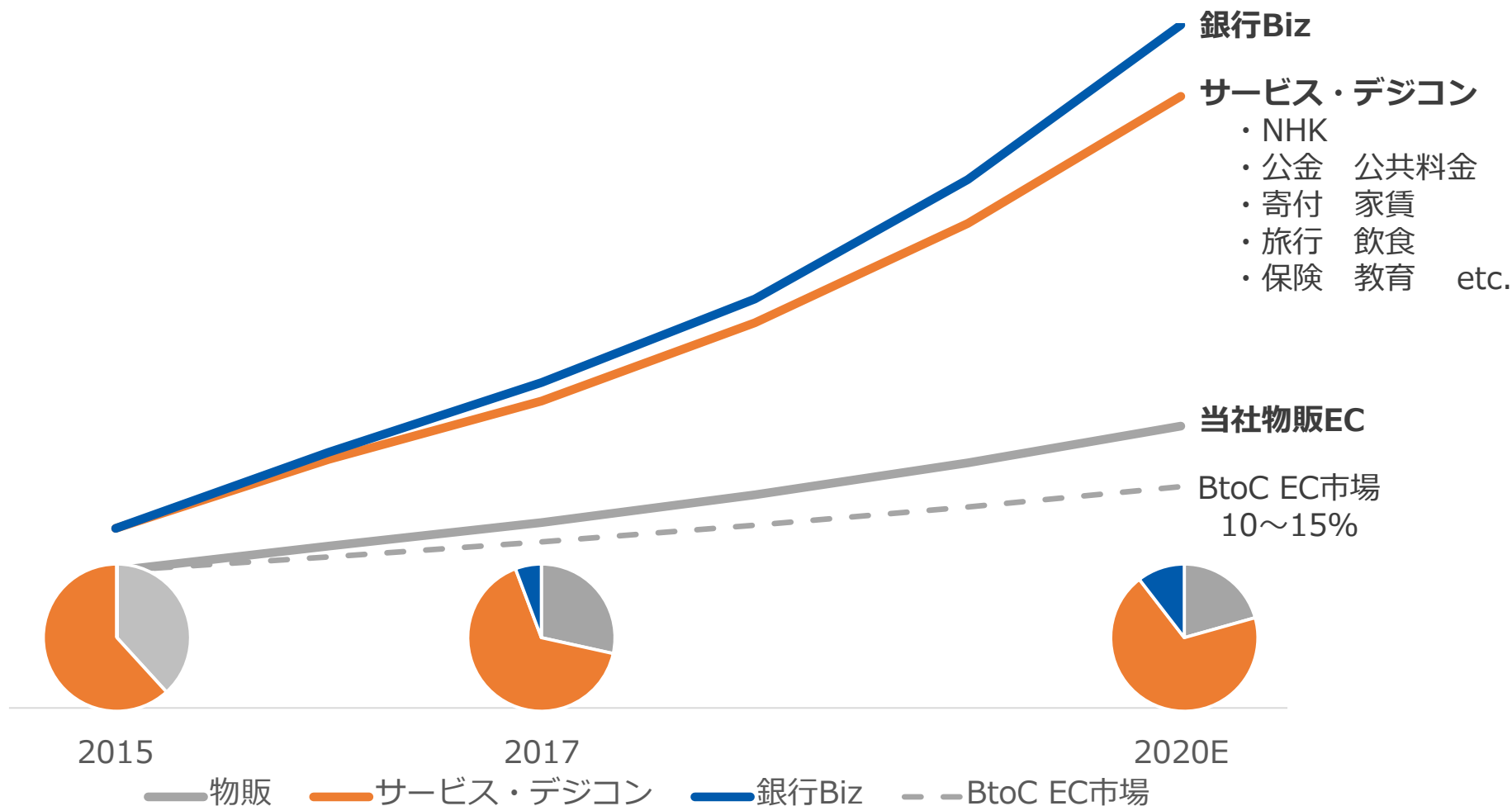


※経済産業省「Fintechビジョン」

※経済産業省「平成28年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」

4.2 決済代行業業：顧客の多様性拡大

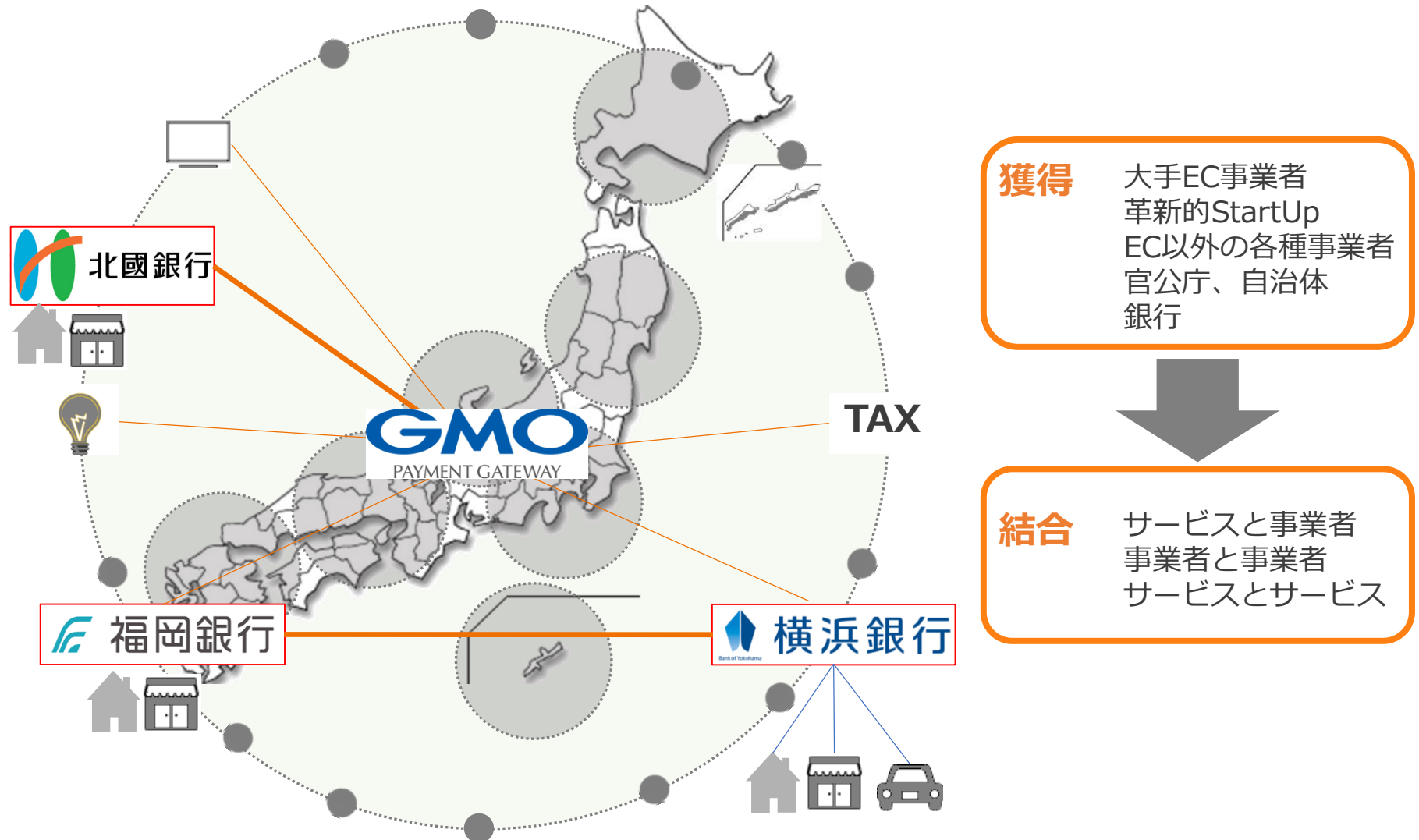
大手・成長加盟店獲得と金融Biz等の拡大により市場成長を凌駕



※PG加盟店トップ100の売上高構成比、ファイナンスリースと代理店その他除く
代理店その他のトップ100における構成比は30%前後、 2020E：目標値

4.3 決済代行事業：プロセッシング&スマートペイ

「獲得」から「結合」への展開により決済のキャッシュレス化を牽引



4.4 決済代行事業：対面決済

キャッシュレス&インバウンド需要取り込み、IoTサービス本格展開へ

EMV・キャッシュレス対応

拡大するオフィス内コマースの キャッシュレス決済

対応デバイス

組込型EMV端末



鉄道会社

GASスタンド

駐車場会社

飲料メーカー

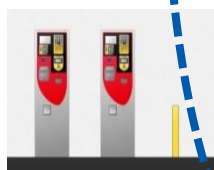
ターゲット



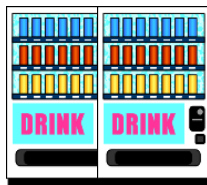
960Kunits



200Kunits



1,570Kunits

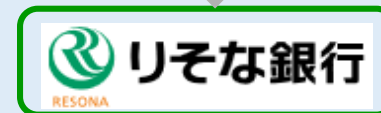


2,500Kunits

写真はイメージです、採用を示唆するものではありません。

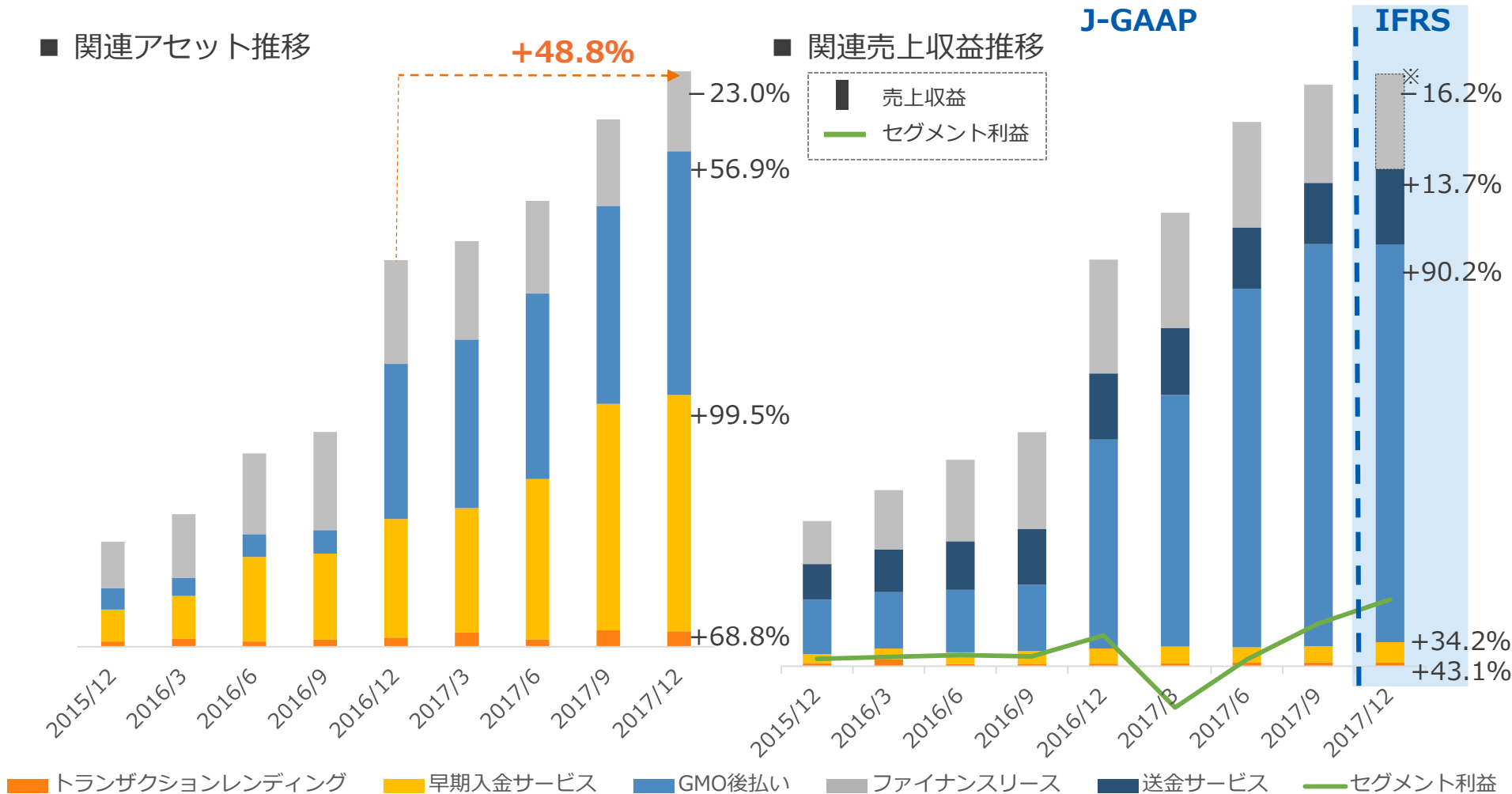


社員証決済データ
GMO デビット決済データ
購入データ



4.5 金融関連事業

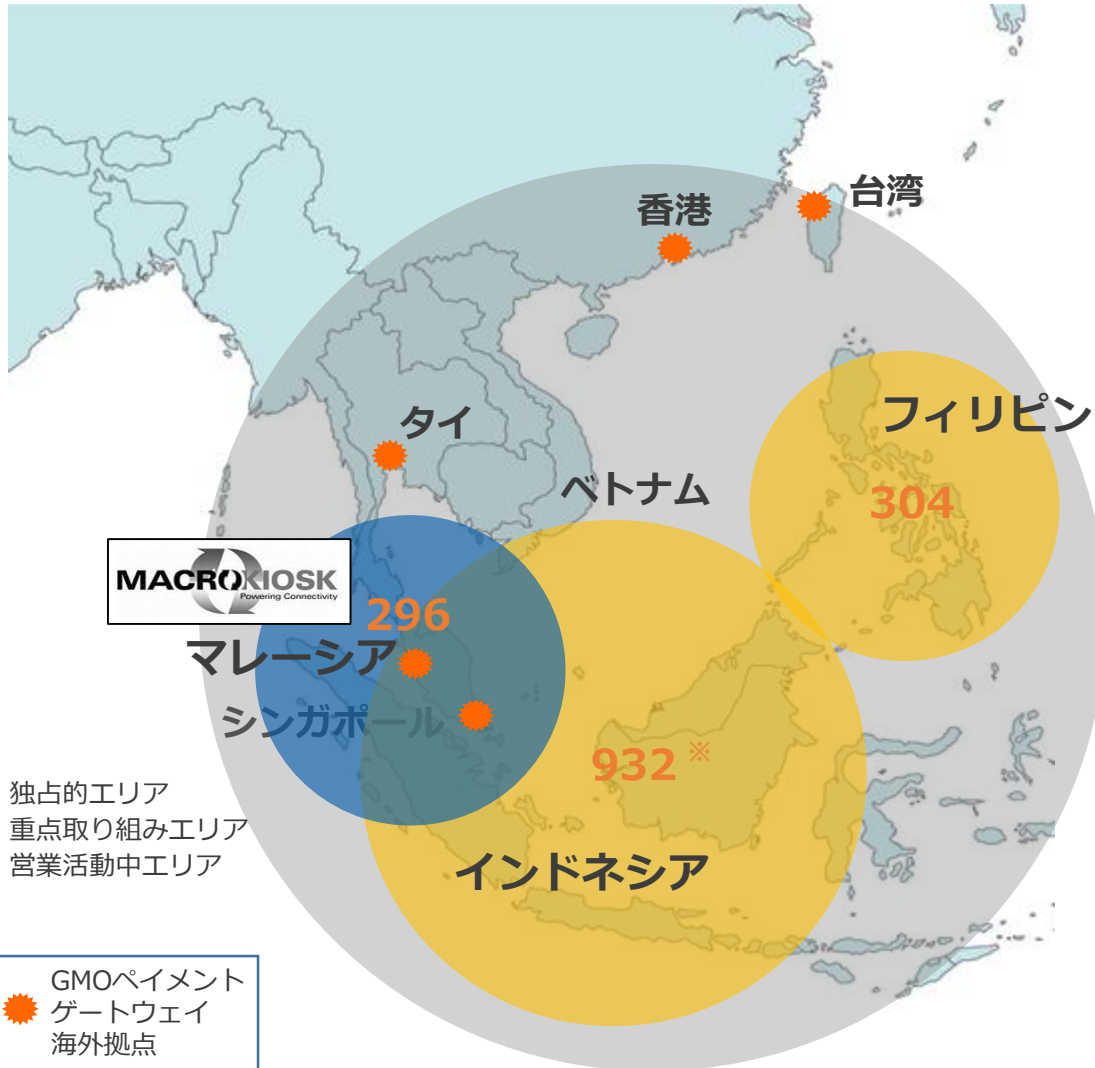
GMO後払いの伸長とセグメント収益性の改善



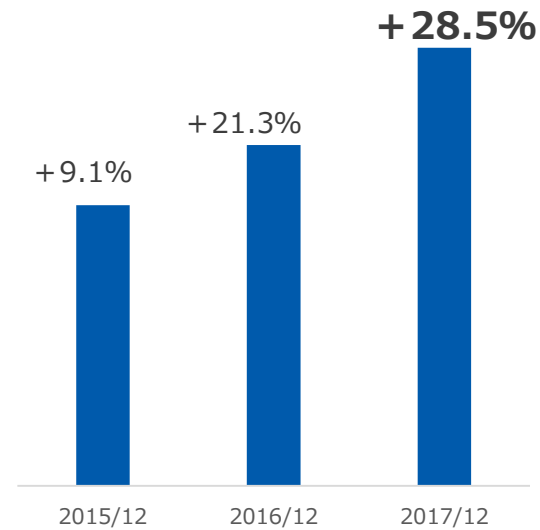
※ファイナンスリースの1Qグラフは前年同期比較のための参考データ
(IFRS適用により売上収益がネット計上に、当データは前Qと同じ基準で集計)

4.6 海外戦略：決済活性化事業（Macro Kiosk）

2020年以降の利益拡大に向けたトップライン重視戦略が進捗



戦略：スケールファースト（後利主義）
 2020年以降の利益拡大に向け順調に進捗中



2016年8月の当社グループジョイン後、Macro Kioskの売上高の伸びが加速

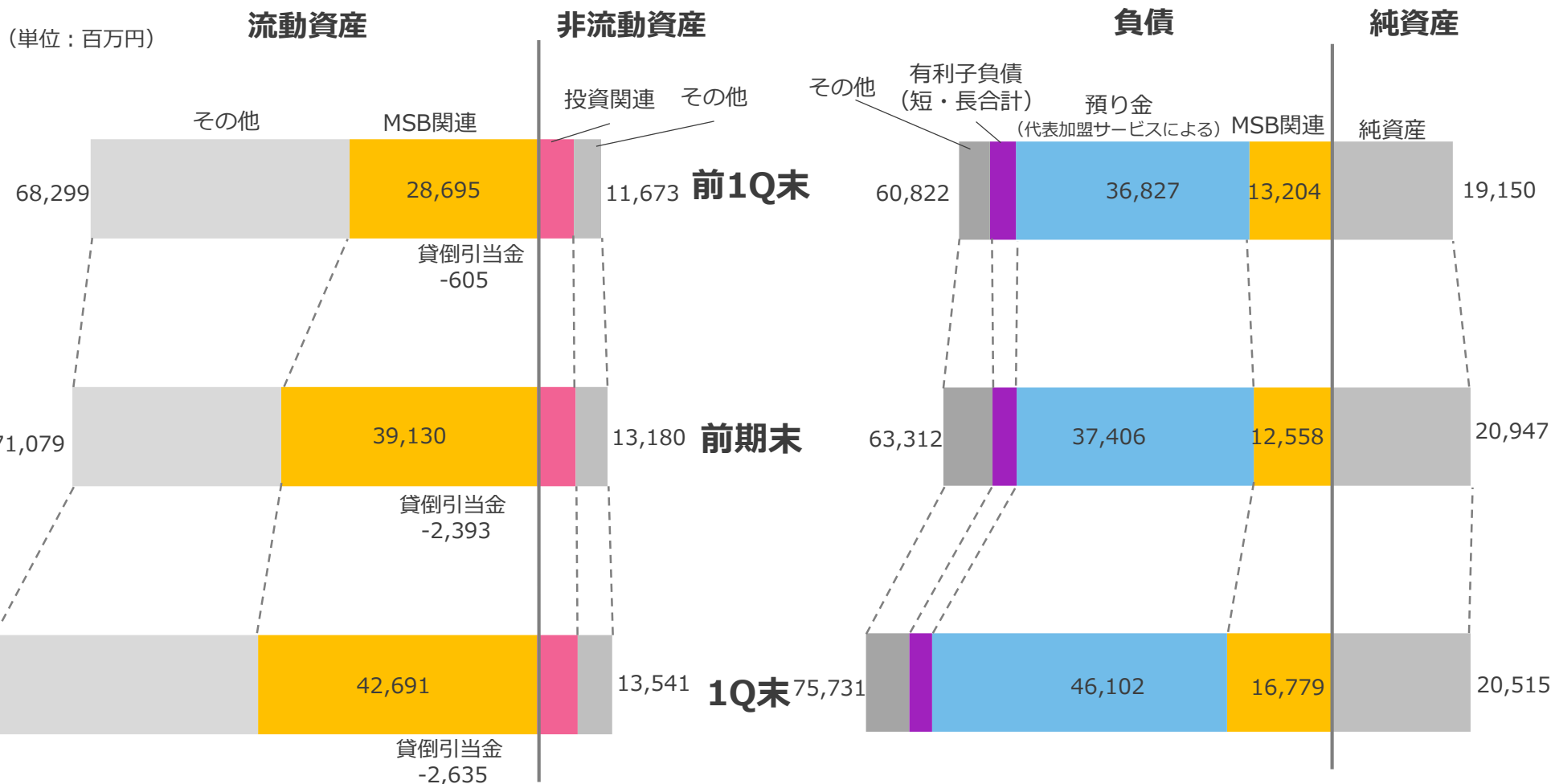
当1Q進捗

- 高GDP国を重点国として拡大
- 主力の認証・ノーティフィケーションサービスにて重点エリアの超大手顧客の獲得が進捗、前年同期比40%

5. 財務ハイライト

5.1 B/Sの変化

預り金及びMSB関連アセットの増加



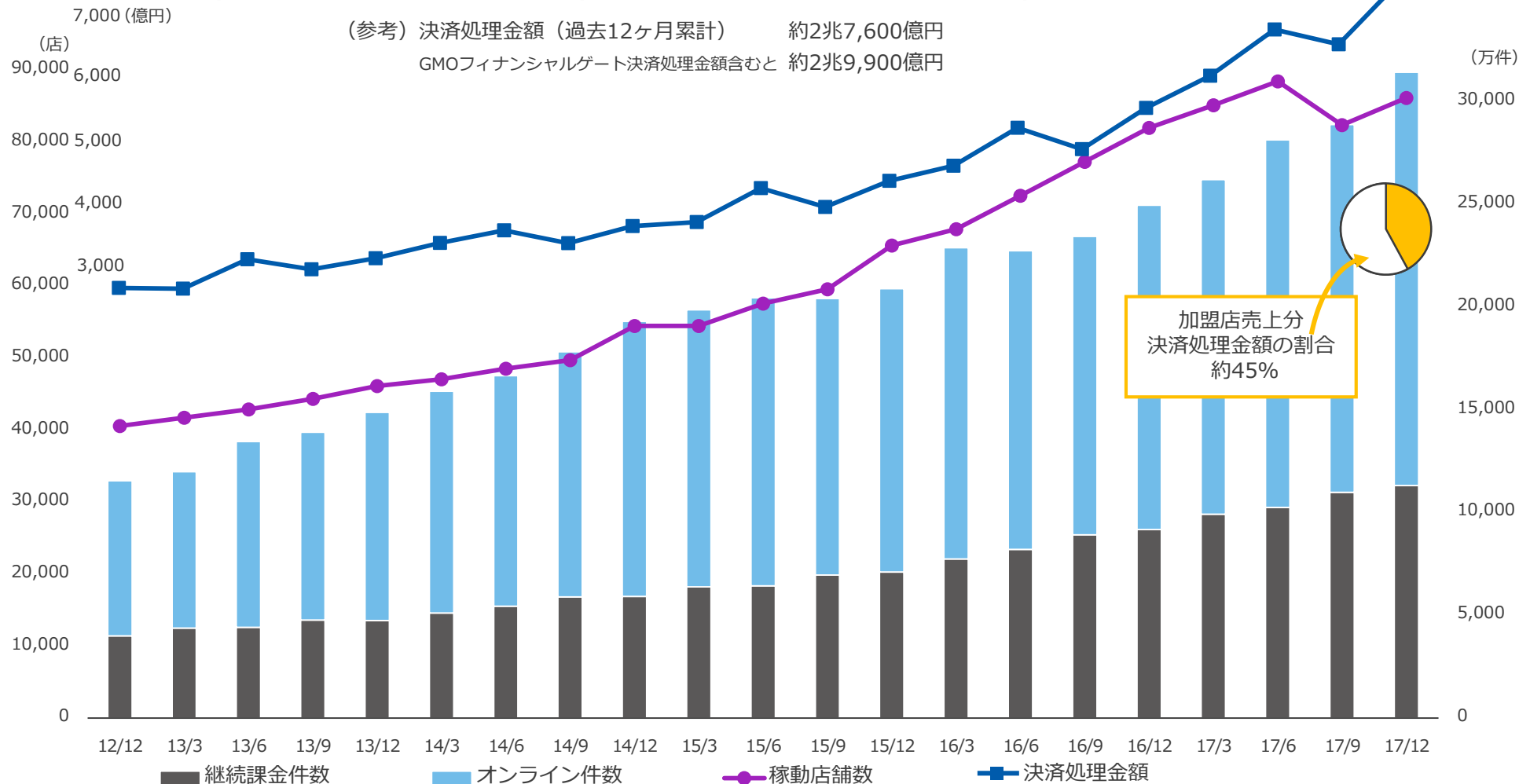
※MSB関連資産：リース債権、短期貸付金、前渡金、未収入金

※MSB関連負債：未払金

5.2 主要KPI推移（四半期推移）

年間決済処理金額は約3兆円に

稼働店舗数 86,136店、決済処理金額 約7,700億円、決済処理件数 約3億1,300万件



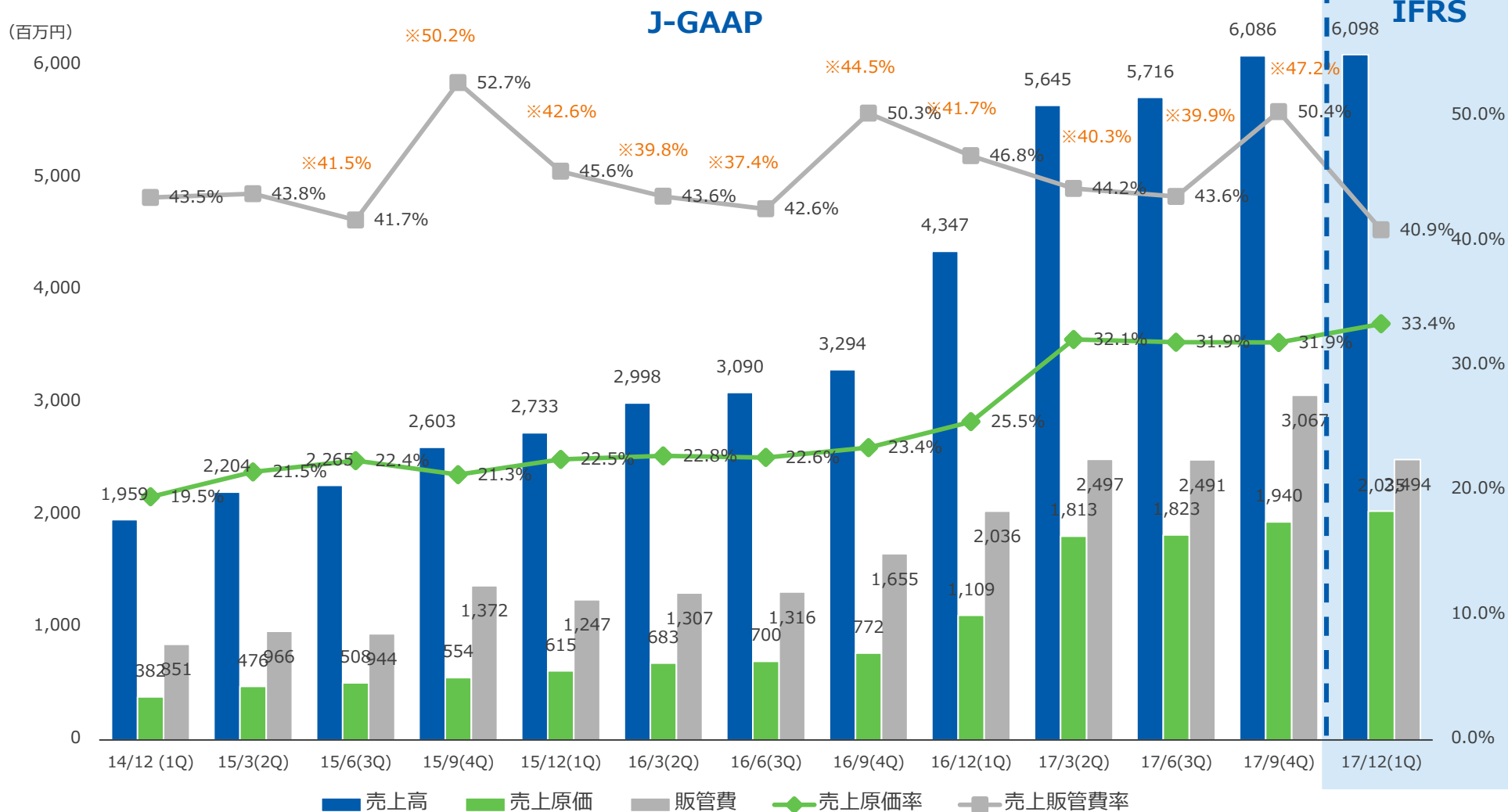
※一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により、17/9末稼働店舗数は17/6末比減少 ※稼働店舗数は四半期末時点、決済処理金額・件数は各四半期毎の実績

6. 参考資料等

6.1 売上原価率・販管費率（四半期推移）

売上構成比の変化により原価率が変動

※MSBに関わる発生外部費用を除いた値
 会計基準変更につき、17/12(1Q)より販管費に含まれない

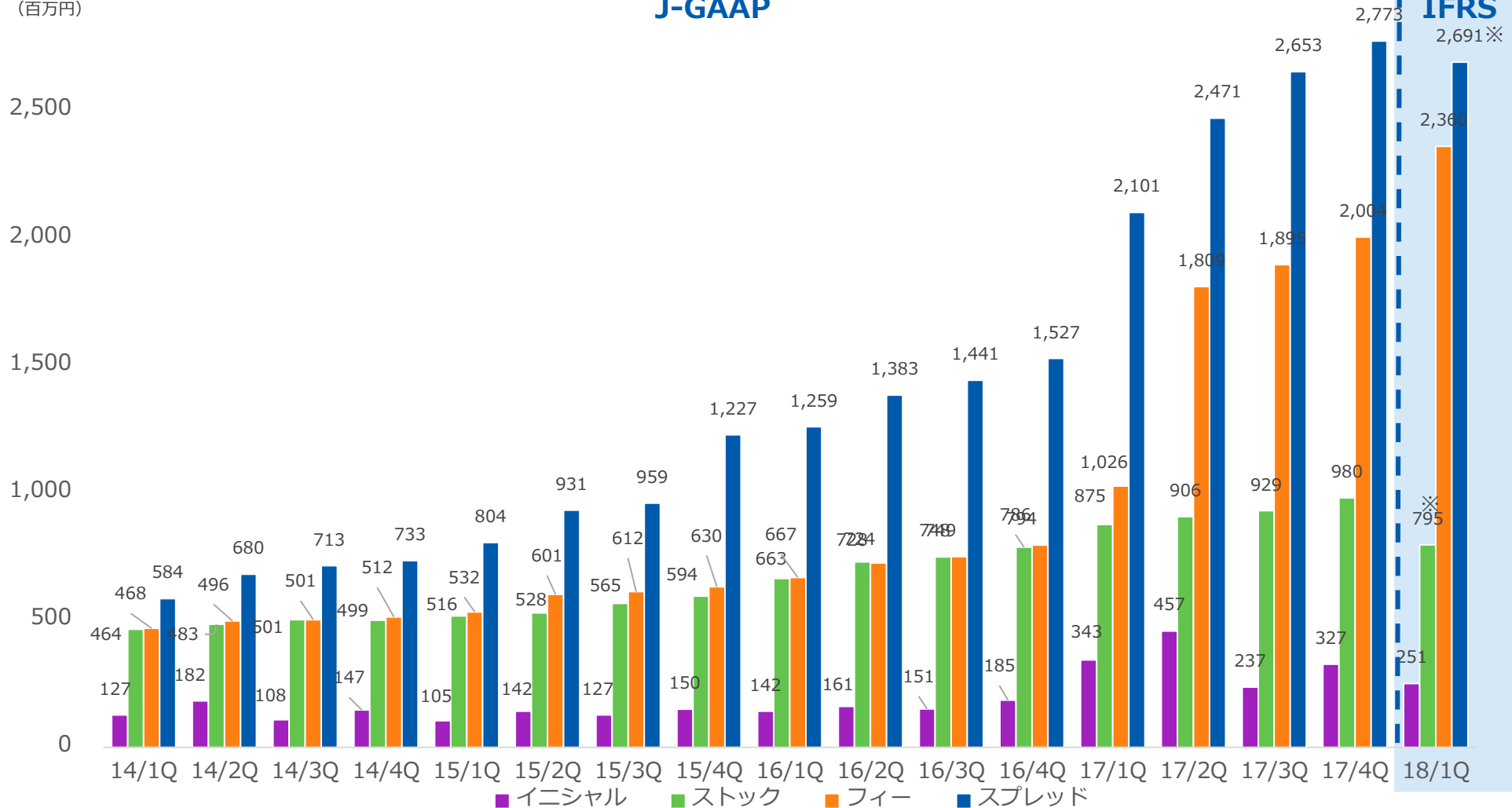


6.2 ビジネスモデル別売上（四半期推移）

IFRS適用により一部サービス売上がネット計上に変更

(百万円)

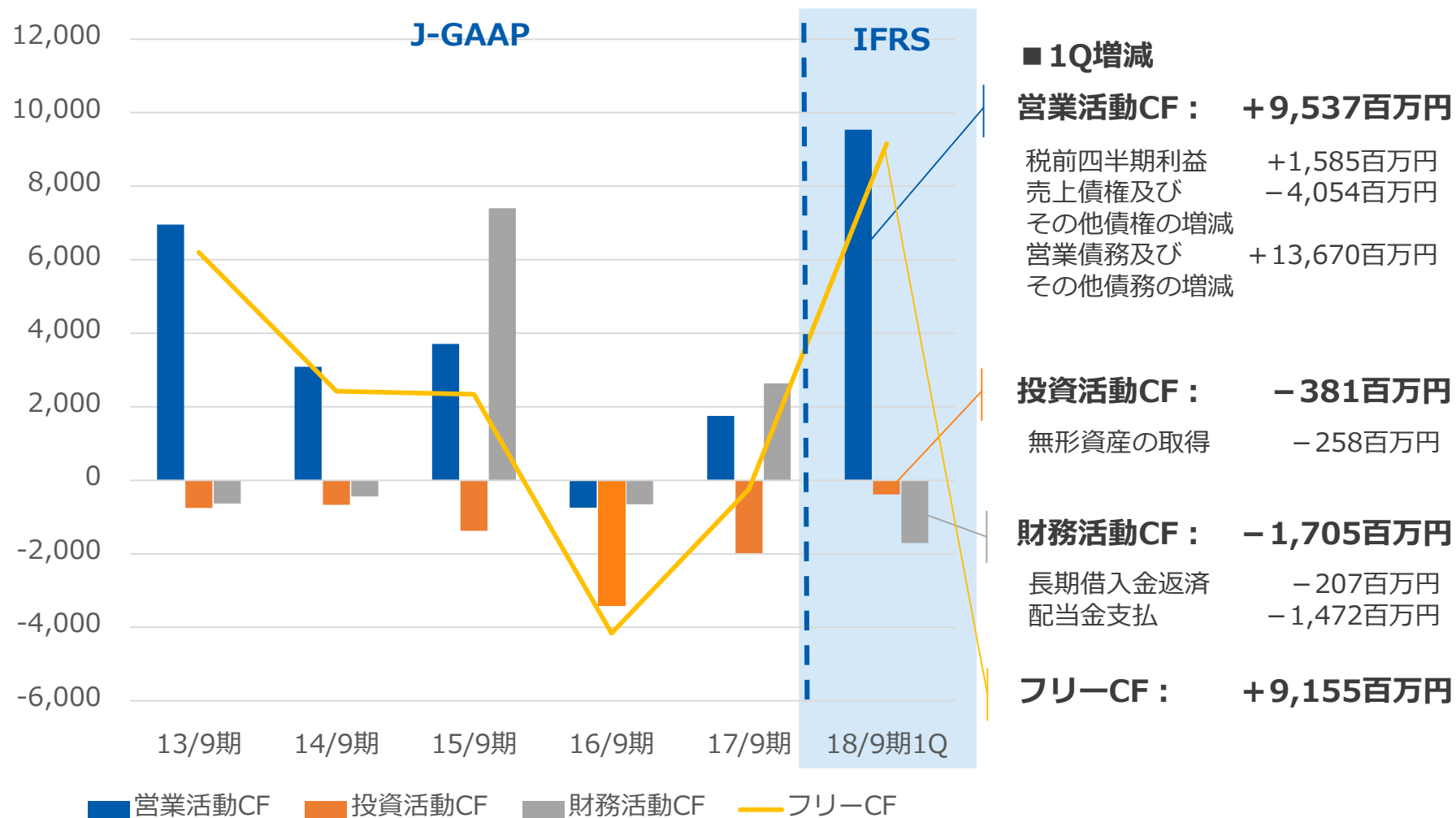
J-GAAP



※集客支援サービス（ストック）とファイナンスリース（スプレッド）の売上計上基準がIFRS適用によりグロスからネットに変更

6.3 連結キャッシュフロー計算書

利益成長と預り金の増加により営業CFはプラス



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <https://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR室までご連絡ください。

IR室 TEL:03-3464-0182